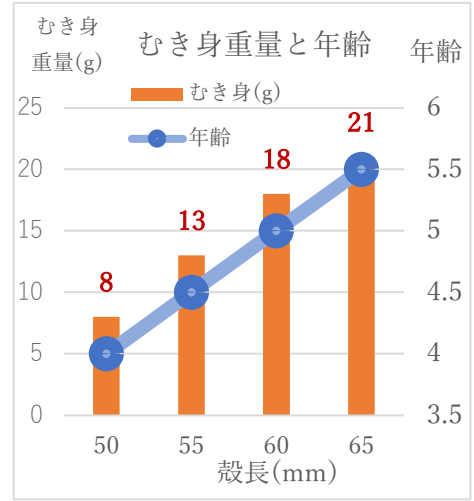
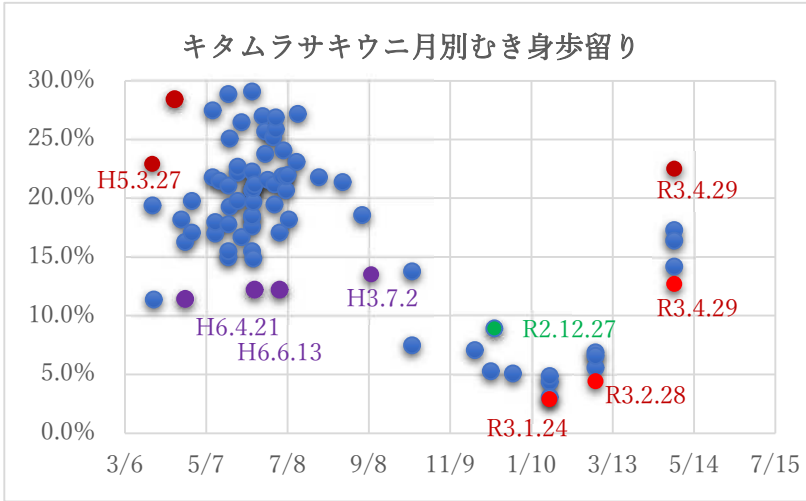


ウニ資源の有効利用

◎むき身歩留りは夏にピーク、冬は空っぽに



◇むき身歩留りは餌があれば3月末でも出荷可能となる。

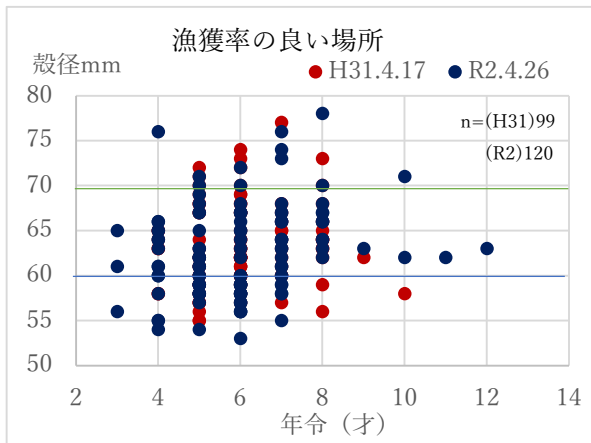
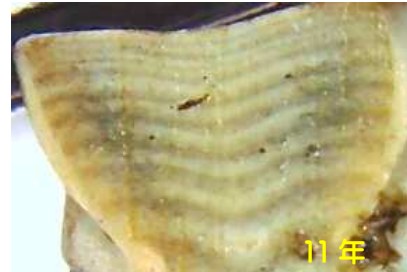
ウニは冬に殻径が大きくなるので歩留りは減少し、1月には3%と空っぽになる。

◇むき身は殻径が大きくなると増え55mmで13g、60mmで18gとなり1.4倍となる。

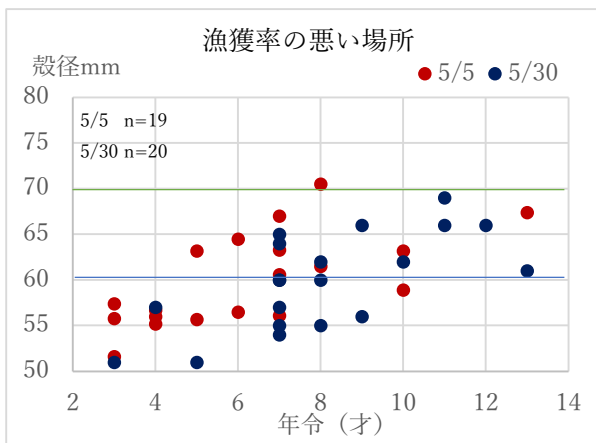
歩留りは餌量次第で決まり、年齢や殻径の大きさに左右されない。

つまり、大きな殻径に餌を十分与えて漁獲すると資源を最大限に利用できる。

◎ウニの年齢を調べて資源管理



4～8才で殻径55～75mmが中心



高齢かつ殻径70mm以下と成長が悪い

◇ウニは1月には空っぽになるので、漁獲率が悪いと毎年餌を無駄に食べ、磯焼けを更に深刻なものとしてしまう。

お任せ下さい、解析いたします!!

ヒロ資源管理研究所
 洋野町小字内3-2
 Tel 080-8211-5317
 ホームページは「ヒロ資源」で検索